

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 8 日作成)

|                              |   |                               |                               |
|------------------------------|---|-------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名                        | PC 部材性能設計法小委員会  |                               | 主 査 名：北山和宏<br>就任年月：2007 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 構造委員会<br>プレストレストコンクリート構造運営委員会   |                               | 委員長名：和田 章<br>主 査 名：西山峰広       |
| 設 置 期 間                      | 2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月   |                               |                               |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | ◎プレストレストコンクリート (PC) 建物の性能評価型設計法を構築すること<br>・初年度：PC 部材の力学特性についての既往の研究の調査<br>・二年度：各種限界状態についての知見収集、合理的な限界状態の設定<br>・三年度：PC 部材の性能評価型設計法の原案作成<br>・四年度：性能評価型 PC 部材設計法の最終案作成 (本文および解説)   |                               |                               |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | 委員公募の有無：無   |                               |                               |
|                              | 主査：北山和宏 (首都大学東京)<br>幹事：河野進 (京都大学)、菅田昌宏 (竹中工務店)<br>委員：浅川弘一 (オリエンタル建設)、阿波野昌幸 (日建設計)、寒川勝彦 (ピーエス三菱)、<br>岸田慎司 (芝浦工業大学)、岸本一蔵 (大阪大学)、永井寛 (鹿島建設)、浜田公也<br>(ピーエス三菱)、浜原正行 (日本大学)、増田安彦 (大林組)、溝口茂 (高周波熱<br>錬)、新上浩 (三井住友建設)、竹崎真一 (大成建設) |                               |                               |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | 不静定応力検討 WG：不静定応力が架構や部材性能および損傷に及ぼす影響を検討し、PC 規準の改定に反映する。  |                               |                               |
| 2008 年度予算                    | 160,000 円   | ホームページ公開の有無：無<br>委員会 HP アドレス： |                               |

| 項 目                                | 自己評価   |
|------------------------------------|--|
| 委員会開催数                             | 4 回 (年度内計画を含む)   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は<br>除く)          |  |
| 講習会                                |  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)      |  |
| 大会研究集会                             |  |
| 対外的意見表明・パ<br>ブリックコメント等             |  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得ら<br>れた成果との関係) | 1. PC 部材の性能評価指針について審議し、最新の知見を取り入れながら、お<br>おむね満足のいく成案を得ることができた。<br>2. PC 部材の各種限界状態について審議し、成案を得た。                              |
| 委員会活動の問題点<br>・課題                   | 1. PC 梁部材および柱梁接合部パネルについては性能評価法を提示できたが、<br>PC 柱部材については知見不足のために未了項目が生じた。また PC 耐震壁<br>については、参照できる研究がほとんどないため全く触れることができな<br>かった。 |